

働く仲間は、闘うN関労に結集しよう!!

LALUZ

(ラ・ルース)

2017年3月15日(水) No. 90

N関労 西日本NTT関連労働組合

発行責任者 兼廣 英治

事務所：尼崎市武庫町 1-36-22 NTT 武庫之荘別館 3F

Tel. 090-8979-5088 Fax. 0885-32-6123

Eメール: kanet@tokushima.email.ne.jp

<http://www.n-kanrou.com/>

17春闘 本日、始業時より潮江ビル(高知市)でスト突入!

ゼロ回答に怒り!

ストライキを闘い抜くぞ!

西N関労では、昨年末から17春闘要求・職場実態アンケートに取り組み、職場からの要求として、2月23日にNTT西日本、フィールドテクノ社、マーケティングアクト社各社へ要求書を提出するに至った。(4pに要求項目を掲載)

これらの要求に対し、各社から3月3日に回答があったものの、内容は実質0回答であった。各社は賃上げに対しては「別途回答する」としたものの、非正規社員の社員化、あるいは社員と非正規社員との格差是正等の諸要求については「要求には応じられない」との判で押したような回答であった。

これらの回答を受け、3月7日にはNTT西日本、8日にはフィールドテクノ社とマーケティングアクト社との間で団体交渉を行ったが、各社共に当初の回答の域を出るものではなく、このまま進展が得られなければ要求貫徹に向け、3月15日、フィールドテクノ社高知営業所においてストライキに入ることを通告し、団体交渉を終えた。

交渉内容については、紙面の都合で詳細に伝えられないのが残念だが、NTT西日本の交渉において、新たな事実が浮かんできた。

NTT西日本では05年～15年までの10年間に配当金の支払いとして、税引き後の純利益2



【多くの仲間を支えられて・・・16春闘模様(高知)】

261億円の内、2248億円を持ち株会社へ支払っている。これは実に純利益の99%である。

OS会社で生まれた利益はNTT西日本へ吸い上げられ、NTT西日本へ吸い上げられた利益は、持ち株会社へ吸い上げられる仕組みである。

西日本本社は今まで「持ち株会社の利益は当社と関係ない」とし、賃上げを拒んできたが、持ち株会社の利益を切り崩しても我々に賃上げをする義務があることは自明である。

アンケートが明かした生活実態

生活にゆとりあるは0名

正規と非正規の格差是正に多くの声

17春闘要求の指針とするために取り組んだ「17春闘要求・職場実態アンケート」に201名の方から回答が寄せられた。この中には震災の傷跡も生々しく残る熊本からも10名の回答があった。仕事に忙しい中、また、生活に不安の残る中でのご協力に心から感謝申し上げたい。

皆様から頂いたアンケートの集約結果と多少の分析を加え、報告としたいが、200余りの回答では、NTT職場全体の意識を集約するには不十分であることを初めにお断りしておきたい。

■17春闘アンケート結果の特徴

17春闘アンケートでは今までのアンケートとは異なる特徴が2点ほど見受けられた。

1. 生活に困らないが増えている？

一つは「あなたの生活実態についてお聞かせください」との質問に、NTT社員の52%、OS会社社員の27%、非正規社員では38%の方が「生活に困るようなことは無い」と回答していることだ。

以前の13春闘では、同様の質問にNTT社員は39%、OS社員は24%、非正規社員では33%であった。また、14春闘ではNTT社員が34%、OS会社社員と非正規社員の合計で27%となっている。

ここ数年、大幅な賃上げが行われたわけでもなく、実質賃金は下がっている。ではなぜ、このような結果になったのだろうか。

幾つかの要因が考えられるが、その一つは「生活に困るようなことは無い」との回答が、具体的

な例を挙げての問いかけではなく、至って抽象的な意味合いになっていたことが、比率が揺れ動く原因であることも否めない。

しかしながら、そうだとでも過去より年々、高い比率になってきている。このことは、低賃金での生活に順応してきたことが、意識に反映された結果、と見ることは邪推だろうか。

そのことを裏付けるものとして、同じ質問の回答で「ゆとりがある」とした方は201名中0名であった。このことは「生活に困るようなことは無い」としながらも、やはり、ギリギリの生活を余儀なくされていることを裏付けている。それでも懸命に生活を守っている、との意識が働いた可能性が高いのではないだろうか。

2. 正規社員と非正規社員の亀裂の深まり？

アンケートで非正規社員の方に、働きざまや不安、不満を聞いたところ、112名中39名の方から意見が寄せられた。

意見では、雇止めについての不安、賃金を含めた労働条件についての不満、また、正規社員との格差改善を要望する声が圧倒的であった。

非正規の方々から生の声を聴かせていただいたことは、アンケートの大きな成果だと言える。

しかし、気になる意見も散見された。社員への非難である。正規社員と非正規社員との労働条件の格差がこのような非難につながることは、当然であるのかもしれない。格差是正が喫緊の課題であることを思い知らされた。

■生活で切り詰めるものは・

この質問も過去、何度となくしてきたものではあるが、いつものビッグ4となった。

NTT社員、OS社員、非正規社員のいずれもが、生活で切り詰めるものとして、衣食の切り詰め、娯楽や旅行の自粛、貯金や保険の縮小、小遣いの減額を挙げている。

中でも頭一つ抜き出ているのが、娯楽や旅行の自粛である。まさに「ゆとり」がないことの証である。

■生活費不足の補充は・・・

ここでは非正規社員の回答を取り上げてみたい。回答では30%の方が、預貯金（退職金）の切り崩しを挙げている。これは非正規社員の内でも60歳超契約社員の方が、退職金を切り崩している、と見られる。以下、28%の方が共働きで生活を支えていることが判明した。また、何もしていない、と答えた方が15名、19%であったことは少し意外な結果であった。

■不透明な評価制度が浮き彫りに・・・

今回のアンケートでは、評価制度について初めて具体的な質問をNTT社員、OS会社社員に行った。その一つが「貴方は貴方への評価についてどう思われますか」というもの。

その結果、評価は妥当と答えたのはNTT社員では52名の回答者の内、29%にあたる15名、OS会社社員では回答者36名の内、12名の33%となった。以外に評価を妥当だと思っているようにも思えるが、過小評価されている、わからないがNTTでは35名、67%、OS会社では24名、67%であり、3分の2が評価に納得していないことの現われである。このことは、評価制度が今もなお公平性、透明性を無視した中で行われている証左である。

ただ、成果主義賃金制度の存続については上記の結果と異なるものとなった。

NTT社員では「今すぐ廃止すべき」としたのが73%に達したのに対し、OS会社社員では、廃止すべきが53%に留まった。PC社員、自社

採用社員の方が低賃金から逃れる道として、成果主義賃金制度を容認したのではないだろうか。

■NTTよ！職場の声を聴け！（アンケートより）

OS会社社員 やはり、同じ仕事をしているのに賃金が3割カットされていることが大いに不満である。（中には自分より仕事をしていないのに3割カットではないため賃金が高い者もいる）／人員増／体制見直しが多すぎるので、先の事（スキル等）を考える余裕がなくなってきた／人が減っているのに業務は変わらない。病気にでもならないと、職場の変化はおきないのか！／中学生と保育園の子どもがいます。今、お金が必要です。普通に生活したいのですが、無理です／労働の均等化（時間や仕事量や人員等）／人員不足／契約社員（OBではない）の正規社員化に前進があれば良い／仕事が減っている／女性活躍促進にもっと取組んで欲しい。

非正規社員 ボーナスをもっと増やして欲しい／仕事にやりがいを感じているので、特に不安や不満はありません／非正規に対する要求ばかりが大きくなっている。それに応じた立場や評価が追いついていない。上司、ベテラン社員ともに、自分たちが我々の年齢の頃と同じ立場や賃金と思っていないか？／正社員と同等の評価賃金等が欲しい／正社員以上の働きをしても給料が良くなる事もなく、仕事をしていない社員さんがキャリアアップするのはどう考えてもおかしいと思います／派遣社員→契約社員（C、D）→3年の契約期限といつでも雇い止めの不安がある／上司はきちんと仕事を理解して、評価するようにして欲しい／雇止めが不安です／安定した生活を送れるなら何でも良いです／今の職場は社員より契約社員が多数です。だからもっと働きやすい、働き甲斐のある環境にして欲しいです。お金のことや評価のことなど／将来が不安／雇止めが不安／賃金がもう少し上って欲しい／年々特別手当（賞与）の額が減り、時給も変わらず仕事への意欲もなくなります／この先業務の集約等ある中で、60歳まで働

けるのか不安／使い捨てられる側は悲しい／不安でたまらないが、働かないと生活が更に苦しくなるため我慢する／何よりも雇い止めの不安が大きいです。雇い止めの可能性があり、不安な状況でも、皆さん責任を持って業務を行っているので、安心して働ける状況が一番の希望です／非正規であっても、正社員以上の仕事をしている人はいます。評価の内容を見直して欲しい。システムだけでは数字が表せない業務がある／これから結婚する身としては、正社員ではないので不安／正社員との差についての合理的な説明が無い／忙しい職場では仕事をたくさんして、そうではない職場では資格勉強などをし、資格を取りやすいなど、社内資格のみでのキャリアパスは不平等と思う。他にも色々不満はある／仕事の量が少ないと言うだけで切られた人もいます。仕事の量は私たちではどうしようもない。仕事に関係のない資格を取らなくてはいけなく、いっぱいいっぱいです／無期雇用にならないと雇い止めになるのは不安です／無期雇用になれなかった時、急に雇用終了になるのをやめて欲しい／非正規の呼び名が悪い／60歳超えのため、体力、気力とも低下しており、今まで通りの労働は難しい。特に車の運転等、無理が出てくる／社員が減って行く中で人員の補充もなく、仕事の内容や量の負担が増えるのではないかと思います／人員の補充が無いままでは、人が減って職場が無くなるのではないかと不安に思う／非正規社員の賃金の低さを正社員の方々、組合の方々も理解して欲しい／不安ではありますが仕方ないと思います／正規と非正規は採用試験等の基準が違うので、仕方ないと思うが、NTTグループ、ミッション会社間で特に特別手当額が大幅に違うのは問題があるのではないですか？／会社へ対しての期待も持てていません。退職者後の補充無く、あれもこれもと業務内容が増えても時給が3年間も上らず疲れてます／同じ仕事をして、バカらしくなる。退職者がたくさんいるのに補充が無い／将来が不安／仕事量が増えた・・・以上

不十分ではあるが、これで報告を終わりたい。貴重なご意見、ありがとうございました。

OS会社への要求項目

- 1、資格賃金を社員一律、月額で16万円(30%カット12万円の是正分を含む)引き上げること。
- 2、夏期・年末合わせて基準内賃金プラス成果手当・扶養手当を合算した賃金6ヶ月分の特別手当を支払うこと。
- 3、成果主義賃金制度を廃止すること。
- 4、労働強化にならない必要な人員配置をすること。
- 5、日帰り旅費を「旅費の見直し」以前に戻すこと。
- 6、パワハラ、セクハラ職場実態調査を行い、健全な明るい職場を目指すこと。
- 7、福利厚生を充実させること。特に人間ドックの全員受診を行うこと。
- 8、社宅定年制を廃止すること。
- 9、CP社員、自社採用社員の配転については本人の同意を得ること。
- 10、通勤費を実態に見合った額に改善すること。
- 11、契約社員(60歳超契約社員を含む)及び派遣社員の労働条件について以下を要求する。
 - (1) 貴社で雇用する派遣社員、契約社員、特に長期に雇用している契約社員を正社員にすること。
 - (2) フルタイム・隔日勤務者の賃金を月給制にすること。
 - (3) 非正規社員(60歳超契約社員を含む)の時給を1,500円以上に引き上げること。
 - (4) 非正規社員全員の労働条件(各種休暇、通勤費の支給、安全管理、人間ドック、カフェテリアプラン、サポート手当、健康診断等)を社員と同等にすること。